



大江

鬼の里 ぶらり観光マップ



大江山 鬼伝説

大江山の
鬼伝説を探る

大江山に伝わる三つの鬼伝説

大江山は、鬼の棲みかとして知られ、有名な酒呑童子の話をはじめ、三つの鬼退治伝説が伝えられています。

酒呑童子と源頼光

正暦元年(平安時代中期)、京の都を荒らしまわった大江山の鬼である酒呑童子(しゅてんどうじ)を源頼光が酒に酔わして騙し討ちに退治した話。お伽草子などに表されあまりにも有名で、退治した頼光より退治された酒呑童子の方が有名になっています。

麻呂子親王と三人の鬼

用明天皇の時代、麻呂子親王(聖徳太子の異母弟)が三上ヶ嶽(大江山)を本拠に暴れ回っていた英胡(えいこ)、軽足(かるあし)、土熊(つちぐま)という三人の鬼を退治した話。薬師信仰との関係が深く、北近畿地方一帯に多くの痕跡が残っています。

日子坐王と陸耳御笠

「丹後風土記残缺」に表されている最初の鬼退治伝説。第10代崇神天皇の時代に日子坐王が陸耳御笠(くがみのみかさ)という土蜘蛛を退治した話。大和勢力による古代丹後地方勢力の吸収劇が隠されているのではないかともいわれています。

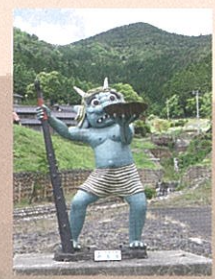


鬼飛岩と鬼の足跡

鬼飛岩は昔、鬼の見張り場所で、急を知らせるため、この岩から着地したところについたのが「鬼の足跡」であると伝えられています。

頼光の腰掛岩

鬼退治をした頼光が腰を掛けたとされる巨岩です。



大江山鬼瓦公園

北近畿タンゴ鉄道大江駅前にある公園です。中でも「屋根付き鬼の回廊」は、三州・淡路・石州の鬼瓦に囲まれ、全国の鬼師(鬼瓦制作者)の鬼面瓦72個が屋根に並ぶ堂々の姿を誇っています。

いろいろな形の鬼瓦を集めた鬼面柱の回廊や、鬼の酒噴水など鬼一色で統一されています。



酒呑童子 の里

大江山の自然と
伝説の中で
鬼たちと戯れる

雄大な大江山の麓にある「酒呑童子の里」は、春秋の登山をはじめ、夏の溪流遊び、昆虫採集、キャンプなど林間学校や合宿に最適です。スポーツ施設や宿泊施設も充実しており、安全で手軽なアウトドアレクリエーションが楽しめ、自然を満喫できます。

(ウルトラマンの美術監督 成田亨さん作)



大江山青少年グリーンロッジ

豊かな自然に囲まれてオールシーズン楽しめ、家族やグループにおすすめの宿泊施設です。「酒呑童子の湯」と名付けられたお風呂は、疲労回復にと好評です。



バンガロー一村

林の中に立ち並ぶ自然素材のバンガローです。シャワー、水洗トイレ、冷蔵庫、エアコンが完備された手軽に利用できる宿泊施設でアウトドアライフに最適です。



大江山の家 童子荘

クラブ合宿や企業研修などに最適な宿泊施設です。テニスコートやバーベキュー広場もあり、家族やグループで楽しめます。

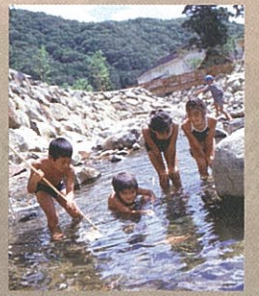


日本の鬼の交流博物館

日本の鬼の交流博物館は、鬼にまつわる全国各地の伝統芸能や鬼面瓦、また、世界の鬼面や仮面が展示されており「鬼が何者なのか」について学ぶことができます。

水辺の広場

大江山の家の横を流れる川に整備された水辺広場は、小さな子供たちも安心して遊べます。



めだかの学校

グリーンロッジの前にあるめだかの学校では、川の魚やめだかを見ることができます。

